

第16回全日本エルデストソフトボール大会



新調されたヘルメットとユニフォーム

話していた。

大阪府予選会
大阪なみはやオープル

大阪なみはやオープルは昨年3月に結成し、百瀬正康監督（74）の下、練習を重ね優勝を手にした。百瀬監督が体調を崩し、手術を受けることに。メンバーは「モモセン（百瀬監督のニックネーム）が帰ってくるまでがんばろう」を合言葉に一丸となって練習に励んだ。

優勝
全国大会へ

女子ソフトボールチーム、大阪なみはやオープル（西佳子キャプテン）が第16回全日本エルデストソフトボール大会大阪府予選会で優勝し、大阪府ソフトボール協会（北川法夫会長）から表彰された。5月26日にメンバーが田中誠太八尾市長を訪ね報告した。



左から5人目池田貴彦社長、百瀬正康監督、田中誠太八尾市長、野口康子コーチ、上西佳子キャプテン

旬の駅イオン鴻池店



旬の駅イオン鴻池店で、川人正臣社長

旬の駅イオン鴻池店

東大阪市鴻池町1-1-72
イオン鴻池東館1F
TEL06-4306-4567
営業時間 9時～18時
※年中無休

新鮮でみずみずしい野菜を農家が提供

一度買って食べた人はそのみずみずしい味が忘れられず、リピーターになる。朝にどっさり入っても、昼過ぎにはほとんどなくなるほどの人気だ。



発行所
東大阪新聞社

第6920号

〒577-0802
東大阪市小阪本町 1-1-7
エフエスビル2F
TEL 06-6720-4601
FAX 06-6720-4603

八尾柏原支社

〒581-0013
八尾市山本町南 6-2-29
TEL 072-926-5134
FAX 072-921-6893

東大阪・八尾
柏原の地域紙

内科・心療内科 皮膚科
さんぽうクリニック
院長 楊 博嗣
八尾市庄内町2-1-36
072-9600531
（八尾徳洲会総合病院西側）

広域

薬師寺長老 山田法胤さん

薬師寺長老の山田法胤さんは摩訶不思議な御人だ。6月2日の喜光寺縁日に講話を聞いた。佛説阿弥陀經の經文中に魔訶目犍連、魔訶迦葉等の仏語・専門用語が多く見られる。「魔訶」は大いさを意味する。「摩訶不思議」とは人智を超えた、良ふからない世界を指していることが多い。法胤さんはとても懐が深く、様々な分野の知識を吸収している、正に長老の名にふさわしい。法胤さんは昭和15年12月、岐阜県本巣郡根尾村にて生を受けた。当時の村民は6400人を数えたが、現在は1200人に減少している。根尾村には3つの天然記念物がある。濃尾地震（M7.8）による断層、薄墨桜（1500年、26代天皇の頃）、菊花石（菊花の自然模様）が村の自慢だとか。

奈良喜光寺ご縁日での講話

山田法胤さん、昭和39年3月に龍谷大学文学部仏教学科を卒業。師匠は橋本凝庵師、ちなみに法胤さん。その後平成2年に喜光寺住職に就任。平成10年執事長、15年副住職を歴任し、21年に薬師寺管主に就任、28年に長老に就任し、現在に至る。奈良の寺は檀家を持たず葬式を行わない、いわゆる墓なし寺と呼ばれている。薬師寺は京都の寺のよ呼ばれている。観光化せず広く浄財を集め、地道な写経活動を通じて西塔・講堂・本堂の修復に努めてきた。

喜光寺は「蓮の花」でも有名であり、7月2日の縁日には見頃を迎える。午前9時からの写経会・法要・山田法胤住職講話を体験してはいかがだろうか。喜光寺は近鉄け辻駅から徒歩10分、近鉄大和西大寺駅から歴史の道徒歩20分。（小川秀人）

株式会社 藤原電子工業
http://www.fdk-td.jp/
〒581-0042 八尾市南木の本二一五
TEL (072) 921-1147 FAX (072) 921-1147
fujimura@fdk-td.jp

パイプイス人引車 36,500円（税別）
災害時対応の「人引車」
日常は室内で使用、緊急時は避難用に使用
室内外用人引車 77,500円（税別）

たつぷりに育てられたイオン鴻池店でも同様に、新鮮でみずみずしい野菜が溢れている。ここを軌道に乗せ、次々と店舗展開する意気込みの川人社長、論議や活字を長年学び、実践しているからだろう、川人社長の目は澄んでおり、私心を去っている。句の駅が全国に広がる日も遠くない。

晴耕雨読
毎年、桜の咲くころにローカル線を行く。11回目の「JR青春18きっぷ」の目的地は国宝松江城と玉造温泉だ。すれ違ふ旅人の多くは高齢者である。青春は若者だけのものではない。「青春とは人生のある期間ではなく、心の持ち方を言う。……たかましの意志、ゆたかな想像力、もえる情熱をさす。（中略）年を重ねただけで人は老いない。理想を失うときはじめる。」
老いても「青春18きっぷ」
記憶にある田園風景は休耕田とソーラー畑になり、昔の駅の賑わいは消えてしまった。主要駅は個性のない高架駅となり無機質で冷たい。玉造温泉駅は昔のまま陽炎が立つ地べたの線路と駅舎の匂いが残っていた。ビルの松江駅前から「ちどり便」の案内で松江城（ちどり城）の天守閣へ。築城時期（1611年）が確認され国宝の決め手

となった。枚の祈禱札を見た。眺望も国宝級だ。パワーストーン（めのう）の湯を楽しみ、仲居さんが薦める銘酒「月山」を愛でながら、松本清張が中学生向けの雑誌に連載した「山中鹿之助」（小学館文庫）談話となった。月よ、願わくは、我に七難八苦を与えたまえ。は子どもころから教えられる。誰もがそう言っている。富田城への道を整備していることなど、話が弾んだ。翌朝、タクシーの運転手から「シンミエキスは殺からつる」と聞かされた。驚いた。来て、見て、飲んで食べただけではもったいない。その土地の歴史、文化などを親しく語り掛ける「もてなし」が何よりだ。なんでも見えてやう、どこへも行つてやうという好奇心と行動力が我が老いの青春である。そういえば「小坂城」という城があるそう。訪ねてみたいと思

2017・6・15

一般社団法人災害避難研究所
マツモラ産業株式会社 共同開発

監修（一社）災害避難研究所
企画開発 大興産業株式会社
製造 マツモラ産業株式会社
TEL 072-925-3450

